統合幕僚監部　報道発表資料
JOINT STAFF PRESS RELEASE
http://www.mod.go.jp/js/

【お知らせ】

令和４年８月２日
統合幕僚監部

統合幕僚長によるインド太平洋参謀総長等会議及び南太平洋参謀総長等会議への参加結果について

統合幕僚長山崎幸二陸将は、令和４年７月２５日（月）から２８日（木）の間、インド太平洋軍及び豪州国防軍が共催するインド太平洋参謀総長等会議、また同会議に連接して豪州国防軍が主催する南太平洋参謀総長等会議に参加しました。

インド太平洋参謀総長等会議では、「インド太平洋地域におけるルールに基づく秩序の促進」をテーマとして、域内の幅広い安全保障上の課題について意見交換が行われました。山崎統幕長からは、同会議内のウクライナ情勢に関するセッションにおいて、「欧州とインド太平洋地域の安全保障環境は不可分であり、ルールに基づく国際秩序の維持は世界共通の課題である。」と指摘し、ウクライナ侵略のような力による一方的な現状変更をインド太平洋地域で生起させないよう域内各国が強固に連帯する重要性について述べました。

また、南太平洋参謀総長等会議に、統幕長として初めてオブザーバー参加し、海洋秩序の維持や気候変動による影響といった域内の幅広い安全保障上の課題について意見交換しました。山崎統幕長から、多国間ＨＡ／ＤＲ訓練等を通じた連携の強化や知見の共有等の平時からの取組の重要性について発言するとともに、自衛隊として南太平洋地域の安全保障環境の安定化に域内各国の特性に応じつつ貢献していきたい旨を発言しました。

このほか、キャンベル豪国防軍司令官、アクイリーノ米インド太平洋軍司令官、ラダキン英国防参謀長、ショートＮＺ国防軍司令官等との二国間会談を実施しました。会談では、厳しさを増すインド太平洋地域の情勢に関して認識を共有するとともに、多角的・多層的な安全保障協力を戦略的に推進する観点から意見交換を行いました。